

小中一貫教育だより

令和3年3月17日

第3号

研究主題 「自ら考え、伝え合い、深く学ぶことができる児童生徒の育成」

～小中一貫した指導の積み重ねを通して～



小中学校の職員による
合同研究会の様子

今年度も「自ら考え、伝え合い、深く学ぶことができる児童生徒の育成」を目指して、「授業づくり部会」と「学習基盤づくり部会」に分かれて研究を重ねてきました。1月と2月の合同研究会では、それぞれの部会で「今年度の振り返り」や「来年度の研究主題」について話し合いました。今年度の取組の成果と課題や、児童生徒の変容から、来年度の方向性が具体的に決まり、有意義な会となりました。

吉田小中学校では、それぞれの学校の部会でも研究を行っています。今年度の研究教科は、小学校は国語と算数、中学校は道徳でした。研究授業を行えば、両校の職員で参観し、児童生徒の理解や職員の指導力向上に役立てています。今年度の様々な取組や活動については「研究のまとめ」という冊子にまとめて発刊し、来年度へつなげるようにしていきます。今後も小中連携を深め、児童生徒の9カ年の成長を目指した指導に努めていきます！

令和2年度 研究のまとめ

自ら考え、伝え合い、深く学ぶことができる児童生徒の育成
～小中一貫した指導の積み重ねを通して～



嬉野市立吉田小学校・嬉野市立吉田中学校

◎小中学校連携の様子◎

乗り入れ授業



小学校6年生には、中学校の国語・数学・理科・社会・音楽の担当職員が授業を行いました。専門性が生かされた授業を受け、児童からは「中学校に行くのが楽しみ」という声が出ていました。授業では、それぞれの職員から、中学校で必要な知識・技能や、中学生になるまでに頑張ってもらい、あと数ヶ月後に迫る中学校生活への心構えができるような授業となりました。



中学校では、〇〇の知識が必要です。

中学校
職員

早速、授業や宿題に取り入れてみますね！



小学校
職員



中学校
職員

〇〇は小学校で学習していますよ。

では、それをふまえた発展学習ができますね！



小学校
職員

気軽に情報交換できることや、即座にそれを生かせることも、小中連携の強みです。